スポーツ安全保険

安心のリボン つけてますか？



1992年

ribbon

<table>
<tr><th rowspan="2">5人以上のグループでご加入ください。</th><th rowspan="2">掛金
(1人年額)</th><th colspan="3">傷害保険（保険金額）</th><th rowspan="2">賠償責任保険
(支払限度額)</th><th rowspan="2">共済見舞金</th></tr>
<tr><th>死亡・後遺障害</th><th>入院</th><th>通院</th></tr>
<tr><td>●スポーツ少年団、子ども会など中学生以下のグループ
●成人の文化活動、奉仕活動のグループ</td><td>360円</td><td rowspan="2">最高
1,400万円</td><td rowspan="2">1日につき
4,000円</td><td rowspan="2">1日につき
1,300円</td><td rowspan="3">対人
1億円
対物
500万円</td><td rowspan="3">突然死および日射病、熱射病による死亡
100万円</td></tr>
<tr><td>●ママさんバレーなどの地域スポーツのグループ
●高校の運動部および大学・会社などのスポーツ同好会
●一定の資格のある指導者のグループ</td><td>1,100円</td></tr>
<tr><td>●老人クラブ団体
団体員が、おおむね60歳以上の人により構成された団体</td><td>500</td><td>400万円</td><td>1,800円</td><td>800円</td></tr>
</table>

注：ほかに学生連盟・実業団連盟に所属する団体の加入も扱っています。

■対象となる事故

●グループ活動中の事故　●往復途上の事故

■保険期間

平成4年4月1日より翌年3月31日まで（申込受付は3月より）

(財)スポーツ安全協会

東京都渋谷区神南1-1-1 岸記念体育会館　TEL(03)3481-2431(代表)

■加入申し込み、資料の請求、お問合わせ

スポーツ安全協会各都道府県支部（主として教育委員会保健体育課および体育協会）、もよりの東京海上火災保険㈱の営業店にご照会ください。

第23回全日本実業団男子トーナメント大会

三景が2度目の栄冠に輝く

第23回全日本実業団男子トーナメント大会は、2月8日から10日までの3日間、三重県鈴鹿市体育館、本田技研鈴鹿健保体育館で開催された。

決勝は三景とトヨタ車体の顔合せとなったが、今大会安定した戦いぶりを見せた三景が終始優位に展開、6年ぶり2度目の栄冠に輝いた。

1回戦

三景 44〔25－4、19－8〕**12 住友生命**

〔戦評〕両チームともコートが狭いこともあって速攻がきかない。しかし、多彩なセット攻撃力を持つ三景が前半から着々と得点を加え、大量リードを奪って住友生命に大勝した。

	〔住友〕	得
GK	小林	0
FP	稼川	0
FP	外池	0
FP	坂本	1
FP	原	0
FP	本永	1
FP	黒川	0
FP	織田	2
FP	北野	3
FP	岡本	2
FP	加藤	3
		12

	〔三景〕	得
GK	中村	0
GK	石井	0
FP	斉藤	3
FP	高橋	9
FP	金井	8
FP	清田	4
FP	小金井	1
FP	高橋	5
FP	小野	3
FP	吉野	6
FP	福士	3
FP	大熊	2
		44

〔審・中山　矢田〕

新日鉄名古屋 24〔6－7、18－7〕**14 コスモ石油**

〔戦評〕立ち上がり新日鉄・大島のジャンプシュートが決まったが、すぐにコスモ石油も追いつき、ロースコアーのゲーム展開であった。コスモ石油のGKが3PTを止め、前半、コスモが1点をリードして折り返した。

後半開始早々に新日鉄が3連続得点し逆転、中盤にはロングシュート、速攻と多様な攻撃で勝敗を決定づけた。

	〔コスモ〕	得
GP	谷口	0
FP	善岡	0
FP	松田	1
FP	北畑	3
FP	高橋	3
FP	川端	5
FP	八十木	0
FP	福本	2
		14

	〔名古屋〕	得
GP	岩上	0
GP	浜田	0
FP	平野	2
FP	土屋	1
FP	清水	5
FP	蟹江	4
FP	大島	4
FP	水谷	0
FP	安藤	8
FP	竹下	0
FP	伊藤	0
FP	渡辺	0
		24

〔審・浜野　土川〕

マツダ 21〔12－8、9－10〕**18 神戸製鋼**

〔戦評〕マツダはシュート力を生かしリードしたが、神戸製鋼も粘り、速攻、PTなどで同点に追いつく。しかし、マツダはカットプレーなどで再びリードを奪うと自らのペースを取り戻し、21－18と3点差をつけて勝利をものにした。

	〔神戸〕	得
GK	藤堂	0
GK	石丸	0
FP	江口	0
FP	平岡	4
FP	宇都	1
FP	沢山	0
FP	太田	0
FP	猿丸	5
FP	西山	2
FP	坂本	0
FP	本川	1
FP	岩崎	5
		18

	〔マツダ〕	得
GK	堀	0
FP	城谷	5
FP	三浦	1
FP	裏崎	0
FP	小林	9
FP	島谷	2
FP	藤田	0
FP	藤井	0
FP	小川	0
FP	弘中	3
FP	磯本	1
		21

〔審・位田　橋山〕

日鉄健材 34〔19－4、15－15〕**19 豊田合成**

〔戦評〕日鉄建材は、豊田合成の単調な攻撃に対し守りを固め、速攻を使って得点、また山口の連続得点で19－4と前半で一気に突き放した。

後半、豊田はマンツーマン・ディフェンスをとり、徐々にではあるが速攻につなぎ得点、互角の展開を見せたが、前半の点差が大きく響いた。

	〔豊田〕	得
GP	則武	0
GP	梅村	0
FP	黒田	5
FP	宇佐美	0
FP	森	1
FP	有竹	0
FP	小林	3
FP	上條	3
FP	堀部	1
FP	高峰	3
FP	森山	0
FP	日比野	3
		19

	〔日鉄〕	得
GP	古里	0
GP	田中	0
FP	谷内	0
FP	至田	3
FP	崎迫	2
FP	鹿嶌	4
FP	板井	10
FP	森	1
FP	山口	7
FP	上山	0
FP	杉本	3
FP	阪中	4
		34

〔審・古賀　尾形〕

トヨタ車体 43〔21－7、22－10〕**17 常陽銀行**

〔戦評〕トヨタ車体の1・5ディフェンスに常陽銀行は攻め切れず、パスミス、キャッチミスを出し、速攻に多くの点を取られ、前半で21－7と大きくリードを許した。

トヨタ車体のスピードに乗った個人技も見逃すことのできないものがあり、最後まで力を抜かずスピード攻撃を続けたことは立派である。スピードに勝るトヨタ車体の快勝であった。

	〔常陽〕	得
GK	高橋	0
GK	木村	0
FP	下山田	1
FP	佐川	1
FP	桜井	0
FP	吉川	9
FP	原田	1
FP	入江	3
FP	中田	2
FP	小松	0
FP	海老沢	0
FP	溝口	0
		17

	〔車体〕	得
GK	宮田	0
GK	渡辺	0
FP	野田	5
FP	君島	3
FP	崎野	4
FP	河合	5
FP	岡部	9
FP	酒井	5
FP	平野	1
FP	寺嶋	3
FP	長野	5
FP	川野	3
		43

〔審・松原　神谷〕

豊田自動織機 22〔9－10、10－9、1－2、2－1、3 PTC 1〕**22 大阪ガス**

〔戦評〕立ち上がり両チームとも固さが見られ、ミスが続きロースコアーの戦いとなった。時間が進むにつれ両チームともペースをつかみ、大阪ガスが10－9と1点のリードを奪って折り返した。

後半、疲れの見えた豊田に対し大阪ガスがリードするかに見えたが、豊田の粘り強い攻撃により延長へともつれこんだ。延長でも一進一退の攻防が続きPTCの結果、豊田が勝利をつかんだ。

	〔大阪〕	得
GK	福田	0
GK	曽根勝	0
FP	奥野	0
FP	加地	2
FP	渋谷	0
FP	中村	0
FP	長田	2
FP	森島	5
FP	浜田	4
FP	可知	0
FP	向井	3
FP	加地	6
		22

	〔自織〕	得
GK	柴田	0
GK	中村	0
FP	山口	4
FP	奥畑	0
FP	大澤	5
FP	諫山	1
FP	倉田	2
FP	小川	5
FP	杉浦	2
FP	山田	3
FP	伊藤	0
FP	吉原	0
		22

〔審・吉田　岸本〕

本田技研爽風会 38〔21－7、17－10〕**17 新日鉄大分**

〔戦評〕立ち上がり、本田は小野寺の連続得点で先制するが、相手のミスに乗じて速攻で連取し、10分で6－1と差を広げた。その後も本田は着々と加点し、前半を21－7と大差をつけて折り返した。

後半も新日鉄はミスから速攻を許す展開となり、差は縮まらず、

	〔大分〕	得
GK	戕満	0
GK	谷川	0
FP	牧	3
FP	房前	2
FP	大杉	3
FP	麻生	4
FP	得丸	0
FP	河野	4
FP	衛藤	1
		17

	〔爽風会〕	得
GK	内山	0
GK	奈須	0
FP	後藤	0
FP	小野寺	4
FP	大西	3
FP	井片	7
FP	平子	8
FP	平井	6
FP	木下	10
		38

〔審・松原　神谷〕

本田の一方的なゲームとなった。

北陸電力 37（16−8 21−8）**16 東ソー**

〔戦評〕東ソーのリードで始まったが、ディフェンスの荒さが目につく東ソーに対し、徐々にペースをつかんだ北陸電力は、藤坂を中心に得点を重ね、前半を折り返した。

後半になっても北陸電力の勢いは止まらず、速攻、セットプレーとも好調で、やや疲れの見えた東ソーは何とかセットプレーを仕かけるが差が縮まらず、北陸電力の快勝となった。

〔東ソー〕	得
椋梨	0
藤井	1
後藤	1
館	0
森広	4
藤井	2
藤井	5
市妙	3
田中	0
山県	0
原田	0
	16

GK　FP　〔審・清水　太田〕

得	〔北陸〕
0	熊本
0	竹内
0	手塚
3	大石
0	近藤
4	鍛原
4	角谷
5	田中
5	北村
4	川上
0	前田
12	藤坂
37	

竹芝精巧 33（15−7 18−5）**12 出光千葉**

〔戦評〕立ち上がり出光がもたつく間に竹芝が4点を連取して優位に立ち、その後も竹芝は多彩な攻撃で着々加点、前半を15−7とした。

後半に入っても竹芝は攻撃の手をゆるめることなく圧勝した。出光は肝心なところでのパスミス、キャッチミスが目立ち、ディフェンスでも詰めが甘く、いいところがなかった。

〔出光〕	得
池田	0
池永	0
久村	0
保原	0
赤羽	1
重永	3
佐々木	0
永石	2
清村	2
後藤	2
鶴岡	2
	12

GK　FP　〔審・位田　橋山〕

得	〔竹芝〕
0	桜川
3	中間
1	平沼
1	馬場
0	三本
0	今村
4	坂元
4	川上
6	川下
7	土肥
7	長野
33	

日本耐酸壜 22（8−7 14−12）**19 住友金属**

〔戦評〕前半、追いつ追われつのシーソーゲームを展開し、日本耐酸壜が1点リードした。後半に入って、住友は高松の連続ゲットで逆転し、優位に立ったが、15分に日本耐酸壜は小林が逆転のシュートを決め1点を争う好ゲームとなった。残り9分に3点差をした日本耐酸壜がそのまま押し切った。

〔住金〕	得
石井	0
黒岩	4
岡崎	0
高松	5
中野	7
岡田	2
岡	0
西岡	1
河野	0
山崎	0
	19

GP　FP　〔審・中村　佐野〕

得	〔耐酸壜〕
0	岩田
0	足立
0	木村
0	古田
0	玉田
3	小林
0	古安
4	五島
6	野村
3	細野
5	斉藤
1	杉浦
22	

JUKI 26（12−8 14−12）**20 バウハウス丸栄**

〔戦評〕立ち上がりJUKIは後藤のシュートで先制したが、バウハウスも5分に同点に追いつき、点の取り合いとなるが、JUKIが沢井の4点連取などもあって12−8と前半をリードした。

後半に入ってもJUKIは後藤を中心に多彩な攻撃で得点を重ね、勝利を収めた。バウハウスもよく粘ったが帰陣が遅く、肝心なところでミスが出るなどして点差を詰めるまでに至らなかった。

〔丸栄〕	得
寺田	0
山藤	0
中島	0
佐藤	2
西川	8
安藤	2
永井	3
岩田	3
広	1
水崎	1
清水	0
坂井田	0
	20

GK　FP　〔審・清水　太田〕

得	〔JUKI〕
0	長谷川
0	木暮
6	後藤
2	溝渕
2	北村
4	東海林
4	沢井
3	岩渕
1	鷹野
0	桜井
0	伊藤
4	古屋敷
26	

大同特殊鋼星崎 30（15−7 15−8）**15 日本原子力**

〔戦評〕ディフェンスにやや難がある日本原子力は、大同の攻撃を守り切れず、また、攻めては大同の積極的なディフェンスに攻めあぐんで前半で8点差を許した。

後半に入っても大同は攻撃の手をゆるめず、相手のミスに乗じての速攻を中心に着実に加点して圧勝。日本原子力は帰陣が遅く、相手陣内でのパスミス、キャッチミスが目立った。

〔原研〕	得
広瀬	0
志賀	0
大友	0
川上	5
安掛	6
荻原	2
宮本	2
	15

GK　FP　〔審・中村　佐野〕

得	〔星崎〕
0	松崎
4	森山
0	宇戸
2	植木
3	久来
0	牧野
6	横浜
3	阿比留
2	平井
3	松本
7	富石
30	

セントラル自動車 33（14−3 19−7）**10 ワールド**

〔戦評〕両チーム共にシュートミス等の多い立ち上がりであったが、7分過ぎからセントラル自動車が連続得点をあげ一気に点差を開き、14−3で前半を終了した。

後半に入り、両チーム共に積極的に攻撃を仕かけたが、シュート力に勝るセントラル自動車が大差で勝利を収めた。ワールドも随所にスピードある攻撃を見せ、最後まで精一杯のプレーを続けていた。

〔ワールド〕	得
平野	0
北村	1
筏	1
坂根	4
岩橋	0
池内	0
市川	2
山根	2
大武	0
	10

GK　FP　〔審・吉田　岸本〕

得	〔セント〕
0	寿田
0	佐藤
2	瀬戸
3	阿部
8	海老原
3	伊東
5	貴船
4	竹村
8	千葉
0	山口
33	

興亜石油 19（8−5 11−5）**10 日本ガイシ**

〔戦評〕前半、立ち上がりから両チーム共ミスが目立ち、また決め手にも欠け、なかなか得点を重ね

られない。13分過ぎ、2−3とリードされた興亜石油がPTで同点とした後、勢いに乗りロングシュート、速攻などで3点をリードして前半を終えた。
後半は終始興亜のペースでゲームが進み、得点差は開く一方であった。日本ガイシも速攻などで反撃を試みるが、肝心なところでのミスが響き、結局19−10で興亜が逃げ切った。

〔ガイシ〕	得		〔興亜〕	得
本山	0	GK	松本	0
野本	0	GK		
清水	1	FP	藤田	9
江口	2	FP	長野	1
喜多	1	FP	松本	6
岩田	5	FP	高林	2
西脇	0	FP	松本	0
国部	0	FP	中村	0
柘植	0	FP	重田	1
磯山	1	FP	村田	0
梅岡	0	FP	三谷	0
田崎	0	FP	原	0
	10			19

〔審・喜井 佐々木〕

徳山曹達 31〔13−4 18−9〕13 金沢市役所

〔戦評〕序盤、両チームGKの好守で一進一退の攻防が続くが、前半12分、徳山・広中の速攻でリードすると勢いがつき、面白いようにシュートが決まりだし、8点を連取、前半を大差で折り返す。
後半に入り、金沢市役所もサイドシュートやロングシュートなどで応戦するが、衰えを見せない徳山の速い攻めに屈した。

〔金沢〕	得		〔徳山〕	得
秋田	0	GK	藤本	0
竹中	0	GK	村上	0
垣内	0	FP	清水	7
岡	3	FP	重永	0
橋本	3	FP	前田	0
金森	0	FP	湊	3
倉	0	FP	中原	2
中村	0	FP	広中	4
真田	5	FP	中村	7
西田	1	FP	中村	2
池村	0	FP	東	1
西山	1	FP	湯浅	5
	13			31

〔審・中山 矢田〕

日本電装 45〔24−0 21−4〕4 富士電機

〔戦評〕試合開始早々、日本電装は積極的なディフェンスからたて続けに速攻を決め、試合を有利に進める。富士もダブルポストやサイドのカットインなどで応戦するが、力で勝る電装が終始リードし快勝した。

〔富士〕	得		〔電装〕	得
大室	0	GK	高橋	0
		GK	井上	0
住川	0	FP	橋本	4
長尾	0	FP	西木戸	0
梅原	0	FP	有村	4
宮下	0	FP	久本	5
西村	2	FP	岸田	4
富永	0	FP	森迫	6
五十嵐	0	FP	井上	3
藤井	0	FP	笠	12
高畑	1	FP	近藤	2
山口	1	FP	難波	5
	4			45

〔審・吉田 鳥羽〕

2回戦

三景 33〔19−8 14−7〕15 新日鉄名古屋

〔戦評〕新日鉄・竹上のサイドシュート先制で始まり、すぐさま三景も清田のサイドで返し、両者ともスタート直後のさぐり合いという感じであったが、三景GK石井の好守に新日鉄は得点できず、逆に三景はディフェンスからの速攻、スピードのあるセットで加点、波に乗って前半で大きくリード。
後半、新日鉄も大きく展開する攻撃から加点、懸命の反撃を見せるが、大島の退場から再び三景にリードを広げられてしまった。

〔名古屋〕	得		〔三景〕	得
浜田	0	GK	中村	0
林	0	GK	石井	0
平野	1	FP	斉藤	4
土屋	3	FP	高橋	4
清水	0	FP	金井	8
蟹江	6	FP	清田	3
大島	1	FP	小金井	0
安藤	2	FP	高橋	3
竹上	1	FP	小野	6
伊藤	1	FP	吉野	2
渡辺	0	FP	近藤	1
		FP	福士	3
	15			34

〔審・松原 神谷〕

マツダ 31〔11−14 15−12 2−3 3−0〕29 日鉄建材

〔戦評〕マツダはペナルティーで先取点、日鉄建材もロングシュートで対抗、一進一退のゲーム展開で、14−11と日鉄建材が一歩リードして前半を終わる。
後半、両チーム共前半と同様の展開、残り5分で同点となり、マツダの粘りで延長戦へともつれこむ。延長に入り、追い上げムードのマツダが弘中の活躍などで逆転勝ちを収めた。

〔日鉄〕	得		〔マツダ〕	得
古里	0	GK	堀	0
田中	0	GK		
谷内	0	FP	城谷	3
至田	0	FP	三浦	3
崎迫	2	FP	裏崎	0
鹿嶌	5	FP	小林	6
板井	5	FP	島谷	0
森	0	FP	藤田	5
山口	5	FP	藤井	0
上山	0	FP	小川	0
杉本	4	FP	弘中	14
阪中	8	FP	磯本	0
	29			31

〔審・位田 橋山〕

トヨタ車体 26〔12−11 14−10〕21 豊田自動織機

〔戦評〕前半立ち上がりから激しい攻防となり一進一退のゲーム展開。トヨタ車体・野田がマークされ苦しい戦いを強いられたが、攻撃力に勝る車体が一歩リードして前半を折り返した。
後半、車体がたて続けにゲット、豊田自織のミスも重なってリードを広げる。自織も中盤以降反撃を見せたが、今一歩及ばなかった。

〔自織〕	得		〔車体〕	得
柴田	0	GK	宮田	0
中村	0	GK	渡辺	0
山田	2	FP	野田	4
奥畑	0	FP	君島	1
大澤	2	FP	崎野	0
諫山	0	FP	河合	2
倉田	4	FP	岡部	8
小川	2	FP	酒井	5
杉浦	4	FP	平野	0
山田	2	FP	寺嶋	0
伊藤	0	FP	長野	5
吉原	5	FP	川野	1
	21			26

〔審・清水 太田〕

北陸電力 24〔13−7 11−13〕20 本田技研爽風会

〔戦評〕北陸電力は相手のミスに乗じての速攻が得点に結びついて着実に加点。藤坂のロングシュートもよく決まって前半を13−7とリードした。
後半に入って、爽風会は攻撃にリズムが出て徐々に追い上げを図ったが、20分に3点差に詰め寄るのがやっとで、北陸電力が24−20で逃げ切った。

〔爽風会〕	得		〔北陸〕	得
内山	0	GK	熊田	0
奈須	0	GK	竹内	0
小野寺	3	FP	手塚	0
大西	2	FP	大石	1
井方	1	FP	近藤	0
平子	5	FP	鍛原	0
平井	0	FP	角谷	1
木下	9	FP	田中	9
		FP	北村	2
		FP	川上	3
		FP	前田	0
		FP	藤坂	8
	20			24

〔審・吉田 岸本〕

竹芝精巧 20〔8−9 12−5〕14 日本耐酸壜

〔戦評〕前半、立ち上がり両チーム共固さが目立ち、相手ミスからの速攻につなげる日本耐酸壜に対し、セットオフェンスでの得点を重ねる竹芝精巧との互角の戦いとなった。後半に入り、竹芝はベテラン勢が入り、がぜんリズムを取り戻し徐々にリードを広げて勝敗を決した。

〔耐酸壜〕	得		〔竹芝〕	得
足立	0	GK	桜川	0
木村	0	FP	中間	4
小林	4	FP	平沼	3
西脇	0	FP	馬場	0
吉安	0	FP	三本	1
五島	2	FP	坂元	4
野村	2	FP	百合野	0
細野	1	FP	川上	3
斉藤	4	FP	川下	4
杉浦	1	FP	土肥	1
		FP	長野	0
	13			20

〔審・清水 太田〕

大同特殊鋼 30 〔17－2 13－8〕 10 JUKI

〔戦評〕前半、JUKIは大同の積極的な厚いディフェンスに攻め手がなく、15分過ぎまで無得点。それに対し、大同は速攻、ポストなど多彩な攻めで着実に得点をあげた。両チーム合わせて退場者が6人、PTが6本という荒い試合となったが、結局スピードとパワーに勝る大同が17－2と大量リードを奪い前半終了。

後半はJUKIも本来の力を発揮し、必死に食い下がるが、力の差は如何ともしがたく、30－10で大同の快勝に終った。

	〔JUKI〕	得
GK	長谷川	0
GK	木暮	0
FP	後藤	3
FP	溝渕	2
FP	北村	0
FP	東海林	1
FP	沢井	2
FP	岩渕	0
FP	鷹野	2
FP	長澤	0
FP	伊藤	0
FP	古屋敷	0
		10

〔審・吉田、岸本〕

	得	〔星崎〕
GK	0	松崎
FP	3	森山
FP	0	宇戸
FP	2	植木
FP	1	久米
FP	0	牧野
FP	1	横浜
FP	10	阿比留
FP	2	平井
FP	4	松本
FP	7	富石
	30	

セントラル自動車 27 〔14－6 13－5〕 11 興亜石油

〔戦評〕立ち上がり、セントラル自動車は千葉のミドルシュートで先制。興亜石油も粘って8分には4－4の同点とする。しかし、この頃から興亜は攻守とも動きが悪くなり、それに乗じてセントラルはフローターを軸にサイドシュート、ミドルシュートなどで加点し8点差をつけて前半を折り返した。

後半もセントラルはサイド、ポスト、相手ミスからの速攻など多彩な攻撃で13分までに10点連取し、興亜を突き放した。

	〔興亜〕	得
GK	松本	0
FP	藤田	3
FP	長野	0
FP	松本	2
FP	高林	1
FP	松本	0
FP	中村	0
FP	重田	5
FP	村田	0
FP	三谷	0
		11

〔審・中村、佐野〕

	得	〔セント〕
GK	0	佐藤
GK	0	鈴木
FP	4	瀬戸
FP	3	阿部
FP	8	海老原
FP	2	伊東
FP	5	貴船
FP	0	竹村
FP	5	千葉
FP	0	山口
	27	

日本電装 28 〔15－8 13－13〕 21 徳山曹達

〔戦評〕両者ともスピード豊かな攻撃を得意とするチームだけに接戦が予想されたが、前半、徳山曹達のサイドシュートを日本電装・井上がたて続けにシャットアウトし、電装がペースをつかみ7点を連取する。

後半に入り、徳山は攻めが単調になった電装のスキをつき湊、湯

	〔徳山〕	得
GK	藤本	0
GK	村上	0
FP	清水	3
FP	重永	0
FP	前田	0
FP	湊	3
FP	中原	0
FP	広中	3
FP	中村	2
FP	中村	5
FP	東	0
FP	湯浅	5
		21

〔審・中山、矢田〕

	得	〔電装〕
GK	0	高橋
GK	0	井上
FP	5	橋本
FP	0	西木戸
FP	0	有村
FP	4	久本
FP	4	岸田
FP	3	森迫
FP	3	井上
FP	7	笠
FP	0	近藤
FP	2	難波
	28	

浅らの活躍で5点を連取、追い上げを図ったが、前半のリードを守った電装が逃げ切った。

3回戦

三景 39 〔20－9 19－10〕 19 マツダ

〔戦評〕前半、三景のミスが重なり苦戦をしたが、徐々に本来の調子を取り戻す。一方マツダも三景の厚いディフェンスをかいくぐり得点するが、追い上げるまでには至らず、20－9と三景が9点をリードして前半を終える。

後半に入り、三景がいきなり3点を連取、リードを大きく広げる。マツダは攻撃も単調となり、ミスも重なって大差で敗れた。

	〔マツダ〕	得
GK	堀	0
FP	城谷	1
FP	三浦	3
FP	裏崎	0
FP	小林	8
FP	藤田	1
FP	藤井	0
FP	小川	0
FP	弘中	6
FP	磯本	0
		19

〔審・位田、橋山〕

	得	〔三景〕
GK	0	中村
GK	0	石井
FP	5	斉藤
FP	10	高橋
FP	2	金井
FP	6	清田
FP	2	小金井
FP	3	高橋
FP	5	小野
FP	4	吉野
FP	0	近藤
FP	2	福士
	39	

トヨタ車体 37 〔19－9 19－13〕 22 北陸電力

〔戦評〕トヨタ車体は立ち上がり2点を先制。しかし、北陸電力も踏張って15分には7－6と食い下がったが、その後トヨタ車体の堅いディフェンスを攻めあぐみ得点できず、その間にトヨタに6点を連取されトヨタペースで前半を終えた。

後半に入ってもトヨタはよく走り、多彩な攻撃で着実に加点、リードを広げて快勝した。北陸電力も最後までよく頑張ったが、地力の差はどうしようもなかった。

	〔北陸〕	得
GK	熊本	0
GK	竹内	0
FP	手塚	0
FP	大石	2
FP	近藤	0
FP	鍛原	0
FP	角谷	3
FP	田中	6
FP	北村	4
FP	川上	4
FP	前田	0
FP	竹内	3
		22

〔審・中山、矢田〕

	得	〔車体〕
GK	0	宮田
GK	0	渡辺
FP	0	野田
FP	10	君島
FP	0	崎野
FP	8	河合
FP	7	岡部
FP	1	酒井
FP	2	平野
FP	0	寺嶋
FP	8	長野
FP	1	川野
	37	

大同特殊鋼 33 〔17－14 16－15〕 29 竹芝精巧

〔戦評〕前半、両チーム共気迫あるプレーで一進一退の攻防をくり広げ、見応えのある試合展開となり、大同が3点をリードして折り返した。

後半になっても両チームのスピード、パワーあるプレーは衰えず

	〔竹芝〕	得
GK	桜川	0
FP	中間	6
FP	平沼	8
FP	馬場	3
FP	三本	7
FP	今村	3
FP	坂元	0
FP	百合野	0
FP	川上	2
FP	土肥	0
FP	長野	0
		29

〔審・松原、神谷〕

	得	〔星崎〕
GK	0	松崎
FP	5	森山
FP	0	宇戸
FP	7	植木
FP	0	久米
FP	0	牧野
FP	10	横浜
FP	5	阿比留
FP	0	平井
FP	0	松本
FP	6	富石
	33	

確実性のあるシュートを数多く放った大同が勝利を収めた。竹芝はディフェンスのまずさが惜しまれる一戦であった。

日本電装 37（19－5、18－5）20 セントラル自動車

〔戦評〕前半10分までは3－3と互角の滑り出しを見せるが、その後スピードに勝る日本電装が相手ミスからの速攻などから得点差を広げ、19－5と大きくリードして前半を終了。

後半は立ち上がりから電装が多彩な攻撃で優位に試合を進め徐々にリードを広げる。セントラルも中盤から粘りを見せるが、善戦及ばず37－20で日本電装が勝利を収めた。

〔セント〕		得
GK	寿田	0
GK	佐藤	0
FP	瀬戸	4
FP	阿部	1
FP	海老原	5
FP	伊東	3
FP	貴船	5
FP	竹村	0
FP	千葉	2
FP	山口	0
		20

審・佐野、中村

〔電装〕		得
GK	高橋	0
GK	井上	0
FP	橋本	2
FP	西木戸	0
FP	有村	2
FP	久本	6
FP	岸田	3
FP	森迫	7
FP	井上	3
FP	笠	7
FP	近藤	3
FP	難波	4
		37

準決勝

三景 29（15－9、14－11）20 トヨタ車体

〔戦評〕三景は立ち上がりから攻守に冴えを見せた。特にGKが再三のピンチを救い、速攻のチャンスを組み立て、連続速攻で得点した。トヨタ車体は速攻の得点が中心であった。三景はセット攻撃にもスピードがあり、着実に得点を重ね、15－9と6点をリードして前半を折り返した。

後半、トヨタ車体は攻撃をかけるが、三景の詰めの早い守りを崩せず、相手に速攻を許してしまい逆に余裕を与えてしまった。

〔車体〕		得
GK	宮田	0
GK	渡辺	0
FP	野田	1
FP	君島	4
FP	崎野	0
FP	河合	7
FP	岡部	4
FP	酒井	3
FP	平野	0
FP	寺嶋	0
FP	長野	1
FP	川野	0
		20

審・中村、佐野

〔三景〕		得
GK	中村	0
GK	石井	0
FP	斉藤	3
FP	高橋	3
FP	金井	3
FP	清田	8
FP	小金山	3
FP	高橋	1
FP	小野	3
FP	吉野	0
FP	近藤	0
FP	福士	5
		29

大同特殊鋼星崎 31（18－6、13－15）21 日本電装

〔戦評〕日本電装は久本のシュートで先制し、6分には4－3とリードを保っていたが、その後攻撃がかみ合わず大同GK松崎の好守もあって20分間無得点に押えられた。その間、大同は再三にわたるインターセプトからの速攻などで13点連続得点をあげて優位に立った。

後半に入って、日本電装は建て直しを図って頑張ったが、前半の大差が大きく、追いつめるまでには至らなかった。

〔電装〕		得
GK	高橋	0
GK	井上	0
FP	橋本	5
FP	西木戸	0
FP	有村	0
FP	久本	6
FP	岸田	0
FP	森迫	4
FP	井上	0
FP	笠	2
FP	近藤	2
FP	難波	0
		21

審・中山、矢田

〔星崎〕		得
GK	松崎	0
FP	森山	5
FP	宇戸	0
FP	植木	3
FP	久米	1
FP	牧野	0
FP	横浜	2
FP	阿比留	5
FP	平井	0
FP	松本	9
FP	富石	5
		31

3位決定戦

トヨタ車体 30（17－13、13－12）25 日本電装

〔戦評〕前半、立ち上がり日本電装・橋本のポストシュートで先制し、ゲームが始まる。14分頃までトヨタ車体が河合のロング、長野の速攻、ミドルでリズムをつくり前半の立ち上がりをリードする。18分頃よりトヨタ車体の攻撃が単調になり、その機に日本電装・笠の速攻、岸田の速攻が決まり始め13－12まで追い上げるが、トヨタ・河合、岡部のロング、速攻が決まり、前半を17－13で折り返した。

後半、20分まで4点差が縮まらずトヨタ車体がリードしつづける。残り8分頃より車体・岡部、平野の速攻が決まり始め、点差が開き始める。最後、電装も速攻で点を取るが及ばなかった。

〔電装〕		得
GK	高橋	0
GK	井上	0
FP	橋本	8
FP	西木戸	0
FP	有村	0
FP	久本	2
FP	岸田	4
FP	森迫	2
FP	井上	2
FP	笠	3
FP	近藤	3
FP	難波	1
		25

審・松原、神谷

〔車体〕		得
GK	宮田	0
GK	渡辺	0
FP	野田	2
FP	君島	3
FP	崎野	0
FP	河合	6
FP	岡部	8
FP	酒井	3
FP	平野	0
FP	寺嶋	0
FP	長野	8
FP	川野	0
		30

決勝

三景 34（16－12、18－14）26 大同特殊鋼星崎

〔戦評〕開始早々、大同・阿比留のミドルで得点すれば、対する三景もカットから速攻で清田の得点で対抗、その後20分まで両チーム激しい攻防をくり返す。21分・福士、22分・清田、そして前半終了間際には見事なスカイプレーで得点した三景が16－12と4点をリードして前半を折り返す。

後半開始直後、大同は2点を連取、流れを変えるかに見えたが、三景の堅い守りに攻めあぐみ、14分まで無得点。その間、三景はGKの好キーピングからの速い攻撃で着々と加点、15分には10点の大差となり大勢は決した。

総合戦力で一歩勝っていた三景の勝利であった。

〔車体〕		得
GK	松崎	0
FP	森山	1
FP	宇戸	0
FP	植木	4
FP	久米	1
FP	牧野	0
FP	横浜	6
FP	阿比留	3
FP	松本	8
FP	平井	0
FP	富石	3
		26

審・中山、矢田

〔三景〕		得
GK	中村	0
GK	石井	0
FP	斉藤	5
FP	高橋	7
FP	金井	8
FP	清田	6
FP	小金山	0
FP	高橋	0
FP	小野	3
FP	吉野	0
FP	近藤	0
FP	福士	5
		34

公認ハンドボール指導者の養成について

指導・方法委員会

公認スポーツ指導者制度は㈶日本体育協会と㈶日本ハンドボール協会で養成されて来たが、その制度が昭和62年度に文部大臣認定社会体育指導者資格付与制度として国家の認定制度となり、内容も一新された制度となったことはご存知の方も多いことと思います。

指導者は次の3つに区分されています。

1、競技力向上指導者
　初級、中級、上級
　コーチ
　　C級、B級、A級

2、地域スポーツ指導者
　初級、中級、上級
　スポーツ指導員
　　C級、B級、A級

3、商業スポーツ施設における指導者
　初級、中級、上級
　教師
　　C級、B級、A級

ハンドボール協会もこの制度の認定団体として申請を行い、平成元年度に認められております。この新しい制度になってからは平成2年度にC級コーチ養成講習会を開催しています。競技力向上指導者、即ち、コーチは中央競技団体であるハンドボール協会と体育協会で養成しておりますが、地域指導者でありますスポーツ指導員は各都道府県体育協会と都道府県ハンドボール協会とで養成しております。これに関する最低限の予算は日本体育協会から支出されておりますが、昨年度は福島県と山口県にてC級の養成講習会が開催されました。ここにありますレポートは福島県のものです。指導者の養成及び資質の向上は、日本ハンドボール協会の最大の課題の一つでもあります。各都道府県が、このような機会を積極的に作り出し、また捉えて各都道府県のレベルアップを計っていただければ幸いです。

スポーツ指導員の養成について

福島県・遠藤　均

1、はじめに

平成2年度本県（福島県）において、㈶日本体育協会公認のC級スポーツ指導者養成講習会が行われた。文部省社会体育指導者資格付与制度となって初めて開催されたわけですが、本講習会の目的を達成すべく事務担当者が集まって何をねらいとし、誰を対象として行うかなどを論議し、次に述べるねらいをもとに対象を決め、指導者養成講習会を開催してみた。

2、本講習会のねらい

現在、本県においてハンドボールを指導している者の中には、専門的にハンドボールを行なってきた者もいるが、半数以上はハンドボールに関して素人であり、なかなか本格的に指導を行うことが困難な状態にある。

それは、高校よりも中学校において顕著であり、中学校の段階である程度基本的なハンドボールの動きを習得するのとしないのとでは大きな開きがあり、また中学校の段階と高校の段階で教えることが全然違ってしまっては、子どもの技術習得に関してマイナスに作用してしまう。

そこで、本県においては、この講習会のねらいを平成7年度のふくしま国体で良い成績を残せるようにと、ジュニア層のレベルアップを図る意図のもとで後でも述べるように中学校の教員（ハンドボール部の顧問）と高校の教員（ハンドボール部の顧問）を中心に据え、ジュニア層のレベルアップと共に中高一貫の指導ができるようにテキストをつくり、この講習会を開催した。

3、講習会の実際

(1) 期間

●平成2年11月11日(日)〜平成3年3月10日(日)

●共通教科　7日間
　平成2年12月2、16日、平成3年1月20日、2月3、17、24日、3月3日

●専門教科　7日間
　平成2年11月11、23日、12月23、24日、平成3年2月10、11日、3月10日

(2) 対象
　小学校教員（経験者2名）
　中学校教員（経験者7名、未経験者8名）
　高校教員（経験者2名、未経験者6名）
　社会人（経験者3名）

(3) 講師
　C級公認コーチの資格を有する者7名を中心とし行う。また、中央から講師を招いて、強化講習会

とタイアップして行う。

(4) 内容

共通教科

資料参照。

専門教科

①種目の特性に応じた基礎理論（10時間）

●ハンドボールの特性とコーチの役割（1h）

●ゲームにおける攻撃と防御論（1h）

●ハンドボールの戦術・戦法論（1h）

●対象に応じた指導内容と指導技術（2h）

●ハンドボールの歴史（1h）

●ハンドボールの特性を活かした体力トレーニング法（2h）

●ハンドボール実施上の安全対策（1h）

●ハンドボール競技のルールとレフェリング（1h）

②実技（24時間）

●実技Ⅰ　個人技能1（2h）
　　　　　個人技能2（3h）

●実技Ⅱ　集団技能1（2h）
　　　　　集団技能2（3h）

●実技Ⅲ　チーム技能1（2h）
　　　　　チーム技能2（3h）

●現場における救急処置1（1h）、2（1h）

●ハンドボール選手のための体力トレーニングとその実際1（2h）

●ハンドボール選手のための体力トレーニングとその実際2（3h）

●ハンドボール競技におけるスキルの評価とその実際（2h）

③指導実習（6時間）

●個人技能の指導方法

●集団技能の指導方法

●チーム技能の指導方法

●指導計画の作成・実施・評価

4、まとめ

本県においては、この講習会をジュニア層のレベルアップをねらいとしその指導者を主な対象として行なったが、勉強会としての性格が強く、素人の先生方に限らず専門的にハンドボールをやってきた先生方にもハンドボールについてじっくり考える時間ができ、自分のハンドボールに対する考え方に一つの流れ（方向づけ）をつくることができたのではないかと考える。確かに、11月から3月までの日曜日を使って行なったために非常に忙しい思いをさせてしまったが、それなりの成果はあったことと思う。

理論では、県の競技力向上班から講師を招いたり、指導実習では中学校の新人戦を使って行なったりと工夫して行なった。また、独自にテキストをづくり、それを土台として議論し合ったり、講議の内容をメモしたりして、後に残るようにもしてみた。講師の先生には、多くの手を煩わせてしまったが、この講習会をきっかけとして専門的にされてきた先生方だけでなく、素人の先生方にも工夫を凝らしたハンドボールの指導がされれば幸いかと考える。

今後の課題としては、次の事柄があげられるだろう。

受けての立場からは、資格取得のための講習にでやすくすることや、受講のための時間的・経済的負担をどうするか、さらには、取得後の資格が活かされるようにするための制度つくりをどうするかが問題となってくるのではないかと考える。

平成2年度C級スポーツ指導員講習会修了者名簿

◎福島県

福島　稔／根本　真／斉藤　剛／二瓶元嘉／佐藤成紀／高野久美子／高橋雅和／仁平光俊／塩澤さとみ／金田洋一郎／渡辺邦彦／寺田正男／渡辺富美広／熊田正幸／伊東　豊／天野泰博／伊藤　忍／清水裕二／前田秀道／小林　隆／菅野哲哉／稲沼正雄／古山隆一／荒川洋樹／菊田克紀

◎山口県

野小田　守／神代雅光／村田晃太郎／岡　貴之／玉川良雄／青木典生／赤地典高／梅本　司／飛垣瑞恵／山村聖子／山本一夫／田辺克己／安部宥二

[資料]

文部大臣認定「社会体育指導者の知識・技能審査事業」（地域スポーツ指導者・初級

平成2年度(財)日本体育協会公認 C級スポーツ指導者養成講習会開催要項（抜粋）

1、目的

地域に於て、スポーツ活動を実施しているクラブやグループ、スポーツ教室で、特定競技種目の基礎的なスポーツ技術や一般的な身体活動の指導を行う指導者の養成を目的とし、地域社会におけるスポーツ指導者資格の公的認知を得るために、文部大臣認定「社会体育指導者の知識・技能審査事業／地域スポーツ指導者初級養成講習会」として実施する。

4、講習科目及び時間

(1) 共通科目（40時間）

①社会体育概論（4時間）

②スポーツ心理学（4時間）

③スポーツ経営学（4時間）

④スポーツ生理学（含む実習）（14時間）

⑤スポーツ医学（含む実習）（6時間）

⑥スポーツ指導論（6時間）

⑦地域におけるスポーツ行政（2時間）

5、受講者

(1) 受講条件

①平成2気4月1日現在20歳以上の者

②地域に於てスポーツ活動を実施しているクラブやグループ、スポーツ教室で実際的指導に当たっている指導者及びこれから指導者になろうとするもの

平成３年度第５回指導方法委員会議事録

［日時］　平成４年１月20日（月）
17時30分～20時40分

［場所］　日本ハンドボール協会事務局

［出席者］大西武三、平岡秀雄、村松　誠、清水口真澄、江成元伸、笹倉清則、芝　重治、小山　浩、清水宣雄、杉森弘幸

［議題１］ハンドボール教本について

平岡委員より挿入写真の一覧表が提出された。各執筆担当者で写真、図がある場合は早急に提出するよう要請があった。

大西委員長よりトピックスとして掲載する担当が依頼された。

［議題２］コーチシンポジュームについて

江成委員より要項、日程について再提案があり、審議し、別紙要項案とした。

［議題３］平成３年度Ｃ級コーチ養成講習会の欠席者の取扱について

４名についてコーチシンポジュームにて補講を行うこととした。

［議題４］91トレーナー、チーフレフェリーシンポジューム報告書の作成について

笹倉委員より12月に完了し、２月中旬発行の予定と報告された。刷り上がり74ページ、500部依頼した。

［議題５］ビデオの販売事業について

大西委員長より協会の収入増大の一環として販売事業としたい旨発言があった。審議し江成委員が企画書を作成することとなった。

［議題６］アナリスト（技術戦術アドバイサー）の派遣について

男子強化部より依頼があり笹倉委員が派遣されることが了承された。

平成３年度第４回指導方法委員会議事録

［日時］　平成３年12月７日（土）
17時～18時

［場所］　東海大学代々木校舎第２会議室

［出席者］大西武三、平岡秀雄、村松　誠、飯田信行、青木宏治、岡本研二、江成元伸、笹倉清則、芝　重治、清水宣雄、高橋英次

［議題１］ハンドボール教本について

過去の講習会の内容を加えて編集する。作業は大西委員長が当たる。提出の原稿にコラムを挿入する。

［議題２］コーチシンポジュームについて

継続して江成委員が計画立案していく。

［議題３］平成４年度の事業計画と予算

大西委員長より資料に基づき説明があった

［議題４］91ギリシャシンポジューム報告書の作成について

早急に発行できるよう確認した。

［議題５］平成３年度Ｃ級コーチ養成講習会欠席者の取扱について

４名についての指導実習の補講が完了したことが報告された。

［議題６］指導者の資質向上について

公認コーチ養成─外国コーチ招聘事業

翌年は伝達講習シンポジューム

検討事項として年１回のブロック指導者担当者会議開催

［議題７］生涯スポーツコンベンション'92の出席者の選出

芝委員の派遣が了承された。

［その他］江成委員に対してＶＴＲ事業の企画を早急に立案することが要請された。

第43回全日本総合選手権を取材して

新鮮さを感じさせた大会

読売新聞運動部　谷戸忠司

昨年暮れに行われた全日本総合選手権は、男子が日新製鋼、女子は北国銀行が初優勝して幕を閉じた。男女そろっての初優勝は38回大会の本田技研鈴鹿、東女体大以来5年ぶり。しかし、今度の両チームは、それまで全国レベルの大会で一度も優勝したことがなかったという点で新鮮さを感じさせ、加えてハンドボール界の勢力地図の変動も予感させた。

日新製鋼の勝因は、ベテランと若手がうまくかみ合ったことにあった。32歳の西山の大活躍で本田技研鈴鹿に勝ち、11度目の準決勝で初めて壁を破った日新。大同特殊鋼との決勝はその西山が開始11分で4得点をあげたが、他の選手は動きが鈍い。逆に大同は盧鉉錫のロングなどで7点。「大試合に弱い日新」という下馬評通りのスタートだった。



流れを変えたのは源内、林の両新人。まず源内が速攻と左サイドからの連続シュート。7分間で4点をあげ、接戦に引きずり込んだ。さらに林も負けじと20分過ぎに同点、逆転の連続シュートを決めた。試合はこれで完全に日新ペース。後半に入ると武田、甲斐らも得点、10分過ぎに20－20とされたものの、その後は最後までリードを保って初の栄冠に飛び込んだ。

試合前は大同有利の予想が多かった。盧鉉錫、林珍錫という韓国から加入した左右の大砲が評判通りに活躍、大会がトーナメント制に移行してから、15年連続決勝に進んでいた湧永製薬を準決勝で破って意気揚がる大同に対して、日新は「主力選手に上位チームに対するコンプレックスがある」といわれた。だが、それも新人の二人には無縁のものだった。さらに、大同の韓国選手への対抗意識も見逃せない。「韓国の二人が入ったとたんに優勝されたのでは、日本人として恥ずかしい」(泉喜久男監督)の気持ちが、初の決勝進出で優勝という偉業を果たせたのだろう。

女子の北国銀行の優勝も素晴らしかった。総合、日本リーグとも4連覇の女王・大崎電気の力が、今季は衰えてきたとの見方もあったが、金玉花、尹秉順は大きな試合になればなるほど力を発揮する。今季リーグで大崎を破った北国でも及ばないような気がしていた。

しかし、35－26というスコアだけでなく、内容も北国銀行の完勝と言ってよかった。前半12分近くに同点に追いついた後は、一度もリードを許さない。スピード勝ちだった。

北国銀行は、身長1m70以上の選手が一人もいない。大型チームに対抗するには動き回るしかないが、それが見事に実践された。ディフェンスでは前後左右の素早いフットワークで大崎電気のロング、カットイン、両サイドからのシュートを止めた。反則退場者が、終了近くの新人・西川による一度だけだったというのが、守りの完璧さを何より物語っている。また、スピード豊かな速攻、ひとたびボールを持ったら足を止めない攻撃力は、相手守備のわずかなスキをついて次々と得点を重ねて行った。

就任わずか5年目で、日本リーグ二部に低迷していたチームを日本一に育てた穂積豊彦監督の手腕を讃えるとともに、単調な走り込みばかりの練習に耐え、期待に応えた北国銀行選手たちの頑張りに大きな拍手を送りたい。

このように、決勝は大いに盛り上がった今回の全日本総合だったが、運営面でミソをつけたのは残念だった。1、2回戦は男子と女子とで会場が別れた。それも2時間近くも離れた会場だ。駒沢体育館が改修中で、駒沢屋内球技場しか使えないためだったが、その辺の事情はかなり前から分かっていたはず。もっと早くから対応に動き出していれば、何とかなったと思う。男子の1、2回戦が行われた中大体育館は、交通の不便さもさることながら、壁をへだてた別のコートでは大学の体育授業などが行われていた。もちろん観客席もない。全日本総合選手権はハンドボールの日本一を決める大会だ。一人でも多くのファンに見てもらえるための、また大きな報道をしてもらうための運営が望まれる。

各地学生リーグ戦から

東海学生

▼男子2部

名大 16－10 日福大
名経大 26－13 名工大
名大 29－15 名工大
南山大 34－19 静岡大
南山大 42－19 名工大
名大 20－15 静岡大
名経大 26－18 日福大
南山大 27－20 名大
静岡大 27－21 日福大
南山大 29－21 名経大
日福大 27－26 名工大
名経大 23－19 静岡大
南山大 27－15 日福大
静岡大 30－25 名工大
名大 24－23 名経大

［順位］①南山大②名古屋大③名古屋経済大④静岡大⑤日本福祉大⑥名古屋工業大

▼男子3部

名学大 35－18 豊技大
豊技大 23－16 滋賀大
豊田高専 25－20 滋賀大
豊技大 26－21 豊田高専
名学大 36－31 三重大
名学大 33－23 滋賀大
岐阜大 25－22 三重大
名学大 29－15 豊田高専
岐阜大 22－20 滋賀大
三重大 31－31 滋賀大
岐阜大 27－19 豊技大
三重大 30－21 豊田高専
豊技大 30－30 三重大
名学大 38－23 岐阜大
岐阜大 ― 豊田高専

［順位］①名古屋学院大②岐阜大③豊橋技術科学大④三重大⑤豊田工業高専⑥滋賀大

▼男子4部

名商大 24－23 常葉大
常葉大 21－16 朝日大
愛知医大 12－0 豊田工大
名商大 19－18 朝日大
常葉大 13－13 東海大海洋
朝日大 12－0 豊田工大
愛知医大 25－20 名商大
朝日大 25－23 愛知医大
名商大 12－0 豊田工大
東海大海洋 12－0 豊田工大
朝日大 22－16 東海大海洋
常葉大 12－0 豊田工大
愛知医大 19－10 東海大海洋
常葉大 30－17 愛知医大
名商大 19－18 東海大海洋

［順位］①名古屋商科大②常葉学園大③朝日大④愛知医科大⑤東海大海洋学部⑥豊田工業大

▼女子2部

岐阜大 14－7 日福大
静岡大 11－9 常葉大
静岡大 20－14 三重大
日福大 19－17 常葉大
静岡大 23－13 岐阜大
静岡大 17－10 日福大
常葉大 10－5 三重大
三重大 16－6 岐阜大
常葉大 11－10 岐阜大
三重大 20－16 日福大

［順位］①静岡大②三重大③常葉学園大④岐阜大⑤日本福祉大

関西学生

▼男子2部

大教大 29－19 関大
関大 28－25 仏教大
関大 33－17 京教大
関外大 19－18 関大
関大 21－17 京大
天理大 27－21 関大
大教大 40－28 仏教大
大教大 19－18 京教大
大教大 28－25 関外大
大教大 31－24 京大
大教大 21－21 天理大
仏教大 30－25 京教大
関外大 26－22 仏教大
仏教大 20－17 京大
仏教大 29－25 天理大
関外大 30－19 京教大
京教大 25－18 京大
天理大 27－23 京教大
関外大 28－21 京大
関外大 28－21 天理大
天理大 32－25 京大

［順位］①大阪教育大②関西外語大③天理大④関西大⑤仏教大⑥京都教育大⑦京都大

▼男子3部

神大 32－21 神院大
神院大 29－23 阪大
大市大 22－15 神院大
京工大 21－16 神院大
神院大 21－18 和歌山大
関学大 24－21 神院大
神戸大 26－19 阪大
神戸大 24－17 大市大
神戸大 28－21 京工大
神戸大 26－25 和歌山大
神戸大 26－25 関学大
大市大 25－13 阪大
京工大 19－18 阪大
阪大 27－20 和歌山大
大市大 19－9 京工大
和歌山大 31－26 大市大
大市大 18－16 関学大
京工大 24－21 和歌山大
関学大 23－16 京工大
関学大 27－20 和歌山大

［順位］①神戸大②大阪市立大③関西学院大④京都工業大⑤神戸学院大⑥大阪大⑦和歌山大

▼男子4部

大府大 28－13 甲南大
大府大 23－17 龍谷大
大府大 29－20 姫独大
大府大 32－21 奈良大
大府大 22－18 大産大
大府大 41－24 大院大
甲南大 28－17 龍谷大
甲南大 27－23 姫独大
甲南大 30－16 奈良大
甲南大 20－20 大産大
甲南大 37－23 大院大
龍谷大 28－22 姫独大
龍谷大 30－19 奈良大
大産大 12－0 龍谷大
龍谷大 47－25 大院大
姫独大 24－20 奈良大
姫独大 30－22 大産大
姫独大 32－26 大院大
大産大 20－20 奈良大
奈良大 33－23 大院大
大産大 32－31 大院大

［順位］①大阪府立大②甲南大③大阪産業大④姫路独協大⑤龍谷大⑥奈良大⑦大阪学院大

▼男子5部

奈教大 21－18 滋賀大
追手門大 23－12 滋賀大
大工大 20－16 滋賀大
神商大 17－16 滋賀大
大薬大 15－14 滋賀大
大歯大 20－14 滋賀大
奈教大 26－17 追手門大
奈教大 24－22 大工大
奈教大 26－22 神商大
奈教大 27－12 大薬大
奈教大 27－20 大歯大
追手門大 17－14 大工大
神商大 20－16 追手門大
追手門大 24－9 大薬大
大歯大 15－14 追手門大
大工大 21－19 神商大
大工大 27－14 大薬大
大工大 12－0 大歯大
神商大 24－15 大薬大
神商大 28－23 大歯大
大歯大 19－13 大薬大

［順位］①奈良教育大②大阪工業大③神戸商船大④大阪歯科大⑤追手門学院大⑥大阪薬科大⑦滋賀大

▼男子6部

姫工大 21－17 大外大
京外大 25－15 姫工大
京府大 21－13 姫工大
姫工大 18－10 兵教大

姫工大 23－19 八代大
京外大 18－8 大外大
京府大 22－19 大外大
大外大 17－12 兵教大
八代大 18－8 大外大
京府大 20－19 京外大
京外大 29－7 兵教大
京外大 18－16 八代大
京府大 25－21 兵教大
八代大 17－14 京府大
八代大 13－7 兵教大

［順位］①京都府立大②京都外語大③姫路工業大④八代学院大⑤大阪外語大⑥兵庫教育大

▼**女子2部**

関学大 14－12 立命大
成蹊短大 17－12 立命大
立命大 18－7 関大
立命大 23－4 甲南大
立命大 17－11 龍谷大
立命大 22－6 神戸大
成蹊短大 20－11 関学大
関学大 14－12 甲南大
関学大 14－8 龍谷大
関学大 13－10 神戸大
関学大 6－5 関大
関大 20－15 成蹊短大
成蹊短大 21－11 甲南大
成蹊短大 15－14 龍谷大
成蹊短大 28－8 神戸大
関大 14－8 甲南大
関大 7－6 龍谷大
関大 13－8 神戸大
龍谷大 13－10 甲南大
神戸大 18－14 甲南大
龍谷大 21－7 神戸大

［順位］①成蹊女短大②関西学院大③立命館大④関西大⑤龍谷大⑥神戸大⑦甲南大

▼**女子3部**

滋賀大 17－9 大薬大
滋賀大 8－7 奈良女大
滋賀大 16－3 和歌山大
滋賀大 25－2 京都女大
滋賀大 35－5 兵庫教大
滋賀大 23－10 奈良教大
奈良女大 14－11 大薬大
和歌山大 9－8 大薬大
大薬大 13－5 京都女大
大薬大 26－15 兵庫教大
奈良教大 17－14 大薬大
和歌山大 14－10 奈良女大
奈良女大 15－1 京都女大
奈良女大 14－6 兵庫教大
奈良教大 10－9 奈良女大
和歌山大 7－6 京都女大
和歌山大 22－10 兵庫教大
奈良教大 10－9 和歌山大
京都女大 11－8 兵庫教大
奈良教大 11－6 京都女大
奈良教大 18－7 兵庫教大

［順位］①滋賀大②和歌山大③奈良教育大④奈良女子大⑤大阪薬科大⑥京都女子大⑦兵庫教育大

▼**女子4部**

追手門大 12－0 京府大
園田女大 17－6 追手門大
大外大 14－7 追手門大
追手門大 10－10 大府大
園田女大 14－11 大外大
園田女大 13－8 大府大
園田女大 12－0 京府大
大外大 21－15 大府大
大外大 12－0 京府大
大府大 12－0 京府大

［順位］①園田女大②大阪外語大③大阪府立大④追手門学院大⑤京都府立大

中四国学生

▼**男子1部**

愛媛大 18－14 山口大
広島大 22－17 山口大
山口大 29－18 松山大
山口大 23－16 香川大
広島大 21－15 愛媛大
松山大 17－16 愛媛大
香川大 17－15 愛媛大
広島大 20－16 松山大
広島大 28－13 香川大
松山大 17－14 香川大

［順位］①広島大②山口大③松山大④愛媛大⑤香川大

▼**男子2部**

広島経済大 21－16 広島修道大
広島経済大 21－17 徳山大
広島経済大 17－12 岡山大
広島経済大 24－20 高知大
徳山大 23－17 広島修道大
岡山大 13－12 広島修道大
高知大 30－16 広島修道大
徳山大 17－17 岡山大
高知大 20－19 徳山大
高知大 22－19 岡山大

［順位］①広島経済大②高知大③徳山大④岡山大⑤広島修道大

▼**男子3部**

島根大 28－18 徳島大
島根大 2[illegible]－20 近畿大
島根大 22－21 広島工業大
鳥取大 23－14 島根大
近畿大 24－19 徳島大
徳島大 27－23 広島工業大
鳥取大 39－28 徳島大
近畿大 19－18 広島工業大
鳥取大 20－18 近畿大
鳥取大 18－15 広島工業大

［順位］①鳥取大②島根大③近畿大④徳島大⑤広島工業大

▼**女子1部**

広島大 9－8 岡山県立短大
広島大 11－9 愛媛大
広島大 16－5 高知大
岡山県立短大 20－8 愛媛大
岡山県立短大 28－7 高知大
愛媛大 14－13 高知大

［順位］①広島大②岡山県立短期大③愛媛大④高知大

▼**女子2部**

山陽学園短大 18－6 岡山女子短大
鳴門教育大 17－6 山陽学園短大
岡山大 29－7 山陽学園短大
香川大 31－10 山陽学園短大
鳴門教育大 29－5 岡山女子短大
岡山大 37－5 岡山女子短大
香川大 27－9 岡山女子短大
岡山大 15－14 鳴門教育大
香川大 24－17 鳴門教育大
岡山大 19－19 香川大

［順位］①香川大②岡山大③鳴門教育大④山陽学園短期大⑤岡山女子短期大

各地の大会結果から

東北

第19回青森県秋季社会人大会

（日程、場所不明）

〈男子〉

▼1回戦
北里大 38－17 七戸ユニオンB
青商ク 39－14 海自第2
航空群B
弘前大 28－5 海自大湊
七戸ユニオンA 24－15 海自第2
航空群A
野辺地クB 26－22 青森ク

▼2回戦
野辺地クA 37－13 北里大
青商ク 27－19 弘前大
七戸ユニオンA 27－16 青森陸自
青森マスターズ 33－14 野辺地クB

▼準決勝
青商ク 25－17 野辺地クA
青森マスターズ 25－24 七戸ユニオンA

▼決勝
青商ク 28（14－8、14－11）19 青森マスターズ

〈女子〉

▼1回戦
あすなろク 23－7 七戸ク

▼準決勝
MKC 16－10 野辺地ク
あすなろク 12－11 青森中央ク

▼決勝
MKC 24（10－10、14－10）20 あすなろクラブ

関東

第14回群馬県中学校大会

（11月3、4日／富岡実業高校、富岡小学校）

〈男子〉

▼1回戦
南八幡 17－16 藤岡北
矢中 14－7 相生
富岡南 32－4 松井田南
甘楽二 15－12 甘楽三
藤岡南 13－7 富岡西
下仁田西 18－15 下仁田東

▼2回戦
富岡 21－11 南八幡
富岡南 17－5 矢中
藤岡南 22－17 甘楽二
富岡東 24－11 下仁田西

▼準決勝
富岡 23－15 富岡南
富岡東 23－13 藤岡南

▼決勝
富岡東 18（11－7、7－9）16 富岡

〈女子〉

▼1回戦
塚沢 11－8 松南

▼2回戦
富岡 26－10 塚沢
富岡南 20－5 相生
富岡東 20－6 富岡西
矢中 20－4 高崎南

▼準決勝
富岡 10－9 富岡南
富岡東 12－3 矢中

▼決勝
富岡東 13（10－7、3－4）11 富岡

東京都高校新人戦

（10月20日～11月23日／駒沢屋内球技場ほか）

〈男子〉

◎予選リーグ

▼あブロック
荻窪 21－20 紅葉川
開成 35－4 紅葉川
開成 29－7 荻窪

▼いブロック
清瀬 17－4 府中西

▼うブロック
修徳 25－8 大崎
世田谷工 28－17 大崎
世田谷工 23－21 修徳

▼えブロック
砂川 11－9 武蔵野北
砂川 14－13 久留米
久留米 22－6 武蔵野北

▼おブロック
筑波大駒場 17－14 日大二
筑波大駒場 24－13 本所
日大二 27－25 本所

▼かブロック
東村山 12－12 久留米西
田無 15－14 久留米西
東村山 22－6 田無

▼きブロック
城西 20－9 佼成
城西 37－3 大森東
佼成 32－7 大森東

▼くブロック
日野台 23－12 科技学園

▼けブロック
北園 26－7 東
葛飾野 26－8 北園
葛飾野 27－3 東

▼こブロック
武蔵村山東 20－7 南平
武蔵村山東 19－15 保谷
南平 16－14 保谷

▼さブロック
早稲田実 22－7 篠崎

▼しブロック
東海大菅生 22－7 山崎
片倉 33－16 東海大菅生
片倉 40－19 山崎

▼すブロック
新宿 22－15 学大附
新宿 24－12 駒大高
学大附 18－10 駒大高

▼せブロック
富士森 9－8 調布北
東大和南 21－8 調布北
東大和南 27－14 富士森

▼そブロック
目黒 11－11 上野
目黒 24－11 武蔵丘
上野 27－5 武蔵丘

▼たブロック
府中 45－5 忠生
府中 32－8 日野
日野 20－11 忠生

▼ちブロック
江北 18－18 大泉
青山学院 12－8 江北
青山学院 23－9 大泉

▼つブロック
東大和 20－18 錦城
神代 28－12 東大和
神代 21－16 錦城

▼てブロック
駒込 20－10 杉並
早大学院 35－3 杉並
早大学院 16－10 駒込

▼とブロック
武蔵 15－12 小平
府中東 25－7 小平
府中東 18－3 武蔵

▼なブロック
小平南 19－11 桜美林
永山 28－17 桜美林
永山 16－12 小平南

▼にブロック
農大一 20－6 光丘
農大一 29－6 豊多摩
光丘 13－8 豊多摩

▼ぬブロック
国立 29－4 創価

▼ねブロック
石神井 18－10 武工大附
武工大附 18－13 広尾
石神井 23－6 広尾

▼のブロック
羽村 21－10 田無工

館 38－13 田無工
羽村 21－11 館

▼はブロック
巣鴨 棄権 白鴎
安田学園 25－3 巣鴨
安田学園 棄権 白鴎

▼ひブロック
井草 22－11 桜水商
井草 棄権 南
桜水商 棄権 南

▼ふブロック
福生 20－9 昭和第一学園
中大附属 16－5 昭和第一学園
中大附属 19－15 福生

▼へブロック
江戸川 15－14 青山
青山 18－17 蒲田
江戸川 16－8 蒲田

▼ほブロック
南野 27－4 南多摩
南野 41－10 北多摩
南多摩 15－13 北多摩

▼まブロック
小岩 27－8 富士
墨田川 25－7 富士
小岩 24－9 墨田川

▼みブロック
八王子東 23－12 小金井北
小金井北 28－1 秋川
八王子東 30－3 秋川

▼むブロック
城北学園 24－8 西
城北学園 12－10 両国
両国 19－13 西

▼めブロック
専大附属 27－19 淵江
専大附属 21－12 雪谷
雪谷 15－13 淵江

▼決勝トーナメント1回戦
世田谷工 20－18 清瀬
東村山 13－11 城西
武蔵村山東 13－10 葛飾野
早稲田実 23－21 片倉
府中 34－9 上野
早大学院 15－8 府中東
国立 23－4 石神井
安田学園 15－12 羽村
中大附属 16－7 江戸川
八王子東 23－14 城北学園

▼2回戦
明星 不明 開成
世田谷工 不明 砂川
筑波大駒場 不明 東村山
成城 不明 日野台
三鷹 不明 武蔵村山東
新宿 不明 早稲田実
府中 不明 東大和南
立川 17－16 青山学院
日体荏原 25－7 神代
永山 25－15 早大学院
農大一 23－19 国立
東京 30－4 安田学園
国分寺 29－15 井草
中大附属 15－14 南野
八王子東 22－17 小岩
拓大一 35－9 専大附属

▼3回戦
明星 27－7 世田谷工
筑波大駒場 14－13 成城
新宿 12－11 三鷹
府中 24－14 立川
永山 19－18 日体荏原
東京 19－15 農大一
国分寺 19－16 中大附属
拓大一 24－14 八王子東

▼準々決勝
明星 29－15 筑波大駒場
府中 24－7 新宿
東京 29－6 永山
拓大一 19－3 国分寺

▼準決勝
明星 33－15 府中
拓大一 17－11 東京

▼3位決定戦
東京 22－14 府中

▼決勝
拓大一 16（9－8, 7－4）12 明星

〈女子〉

●予選リーグ

▼Aブロック
目黒 8－8 東京
目黒 8－2 雪谷
東京 5－3 雪谷

▼Bブロック
砂川 14－10 南平

▼Cブロック
淵江 棄権 杉並
佼成女子 40－2 淵江
佼成女子 棄権 杉並

▼Dブロック
府中東 10－7 国分寺
拓大一 12－11 国分寺
拓大一 14－10 府中東

▼Eブロック
鶴川 4－2 武蔵野北
国立 13－8 鶴川
国立 8－5 武蔵野北

▼Fブロック
文華女子 18－5 府中西
田無 7－7 文華女子
田無 20－5 府中西

▼Gブロック
保谷 11－5 小平
保谷 15－6 武蔵
武蔵 13－11 小平

▼Hブロック
富士 棄権 白鴎
富士 12－5 学大付属
学大付属 棄権 白鴎

▼Iブロック
久留米西 12－6 日野台
久留米西 21－5 羽村
羽村 10－9 日野台

▼Jブロック
小岩 13－9 文教女子
小岩 18－5 本所
文教女子 14－11 本所

▼Kブロック
東大和 24－5 南野
東大和南 12－5 南野
東大和 10－6 東大和南

▼Lブロック
広尾 15－1 一商
江戸川 20－2 一商
江戸川 12－1 広尾

▼Mブロック
調布北 6－5 五商
神代 10－1 調布北
神代 16－1 五商

▼Nブロック
石神井 10－7 上野

▼Oブロック
白梅学園 [illegible]3－6 桐朋

桐朋 17－8 小金井北
白梅学園 23－6 小金井北

▼Pブロック
蒲田 4－3 豊多摩
日大二 10－7 蒲田
豊多摩 9－5 日大二

▼Qブロック
府中 18－6 共立第二
武蔵村山東 9－6 共立第二
府中 20－3 武蔵村山東

▼Rブロック
青山学院 5－5 井草
青山学院 9－6 農大一
井草 8－3 農大一

▼Sブロック
八王子東 8－6 東海大菅生

▼Tブロック
大崎 8－5 墨田川
大崎 9－6 西
墨田川 7－3 西

▼Uブロック
富士森 22－1 福生

▼決勝トーナメント1回戦
富士 11－10 保谷

▼2回戦
砂川 不明 目黒
佼成女子 不明 拓大一
武蔵野女子 17－6 国立
文大杉並 不明 田無
久留米西 12－7 富士
東大和 16－7 小岩
神代 10－4 江戸川
石神井 12－10 白梅学園
日野 不明 豊多摩
菊華 不明 府中
井草 11－6 八王子東
富士森 21－3 大崎

▼3回戦
藤村女子 24－2 砂川
武蔵野女子 18－16 佼成女子
文大杉並 22－4 久留米西
八雲学園 19－2 東大和
日体桜華 14－6 神代
日野 10－7 石神井
菊華 8－3 井草
江東商 19－7 富士森

▼準々決勝
藤村女子 13－8 武蔵野女子
文大杉並 14－6 八雲学園
日体桜華 7－5 日野
江東商 12－7 菊華

▼準決勝
文大杉並 19－18 藤村女子
江東商 27－2 日体桜華

▼3位決定戦
藤村女子 21－9 日体桜華

▼決勝
江東商 16 (9－8, 7－4) 12 文大杉並

群馬県高校新人大会

（11月23、24日／富岡高校）

〈男子〉

▼決勝1位リーグ
富岡 26－9 下仁田
吉井 38－16 前橋
富岡 36－5 前橋
吉井 25－17 下仁田
富岡 23－10 吉井
下仁田 25－14 前橋

〔順位〕①富岡②吉井③下仁田④前橋

▼2位リーグ
高崎東 21－8 玉村
富岡実 37－7 藤岡工
高崎東 28－12 藤岡工
富岡実 35－17 玉村
富岡実 25－16 高崎東
玉村 21－20 藤岡工

〈女子〉

▼決勝1位リーグ
吉井 15－9 桐生西
群馬女 13－8 吉井
群馬女 30－14 桐生西

〔順位〕①群馬女②吉井③桐生西

▼2位リーグ
桐生女 14－5 高崎東
太田商 9－9 高崎東
太田商 30－17 桐生女

第15回群馬県小学生総体

（11月24日／富岡高校）

〈男子〉

▼1回戦
館林スカイジュニアA 22－1 富岡ジュニアC
富岡ジュニアA 26－5 妙義小
館林スカイジュニアB 10－3 富岡ジュニアD

▼2回戦
館林スカイジュニアA 11－2 富岡ジュニアB
富岡ジュニアA 22－0 館林スカイジュニアB

▼決勝
富岡ジュニアA 13 (7－2, 6－3) 5 館林スカイジュニアA

〈女子〉

▼リーグ戦
妙義JSC 9－7 富岡ジュニアガールズ
妙義SC 27－1 妙義JSC
妙義SC 25－2 富岡ジュニアガールズ

〔順位〕①妙義SC②妙義JSC③富岡ジュニアガールズ

千葉県実業団秋季リーグ戦

（12月1、7、8日／出光千葉体育館）

▼1部リーグ
コスモ石油 44－13 日産化学
出光千葉 28－15 三井石化
海自下総 41－20 日産化学
出光千葉 31－12 海自館山
コスモ石油 棄権 三井石化
海自下総 46－11 海自館山
出光千葉 19－15 コスモ石油
三井石化 26－30 日産化学
コスモ石油 26－15 海自館山
海自下総 31－25 三井石化
日産化学 26－22 海自館山
海自下総 25－16 出光千葉
三井石化 25－19 海自館山
出光千葉 21－17 日産化学
コスモ石油 17－15 海自下総

〔順位〕①海自下総、コスモ石油、出光千葉④日産化学⑤三井石化⑥海自館山

▼2部リーグ
海自木補 棄権 東京電力
東京ガス 棄権 東京電力
海自木補 28－16 東京ガス

〔順位〕①海自木補②東京ガス③東京電力

近畿

第38回滋賀県秋季中学総体
（10月24、25日／多賀中学校）

〈男子〉

彦根中央 19－7 野北
八幡西 17－5 八幡
安土 17－7 八幡東
守山南 15－11 野北
鳥居本 17－11 野洲
彦根南 27－4 八幡東
守山南 19－10 彦根中央
野洲 14－8 八幡
彦根南 19－9 安土
鳥居本 19－9 彦根南
守山南 13－13 八幡西
2PTC0
鳥居本 28－17 守山南

〔順位〕①鳥居本②守山南③八幡西③彦根南

〈女子〉

彦根中央 6－6 鳥居本
多賀 12－5 能登川
彦根中央 8－5 多賀
安土 12－12 鳥居本
能登川 12－4 安土
多賀 11－6 安土
能登川 11－6 鳥居本
彦根中央 11－8 安土
多賀 19－10 鳥居本
彦根中央 7－6 能登川

〔順位〕①彦根中央②多賀③能登川④鳥居本⑤安土

滋賀県秋季高校総体
（10月31日～11月2日／滋賀県立体育館）

〈男子〉

▼予選リーグ・Aゾーン
彦根工 13－7 野洲
彦根工 15－8 八幡工
野洲 11－8 八幡工

▼同・Bゾーン
河瀬 18－4 能登川
比叡山 10－9 安曇川
河瀬 15－9 比叡山
安曇川 17－5 能登川
比叡山 17－8 能登川
河瀬 12－6 安曇川

▼同・Cゾーン
彦根西 27－9 近江
八日市 20－10 高島
高島 32－7 近江
八日市 25－4 彦根西
八日市 26－2 近江
高島 22－17 彦根西

▼同・Dゾーン
彦根東 13－5 米原
長浜北 21－8 米原
長浜北 17－6 彦根東

▼決勝トーナメント1回戦
彦根工 25－9 高島
河瀬 8－7 彦根東
八日市 19－7 野洲
長浜北 27－9 比叡山

▼2回戦
彦根工 19－6 河瀬
長浜北 14－11 八日市

▼決勝
長浜北 19（11－5、8－8）13 彦根工

〈女子〉

▼予選リーグ・aゾーン
彦根商 18－8 米原

▼同・bゾーン
高島 18－8 大津商
河瀬 30－2 大津商
河瀬 9－5 高島

▼同・cゾーン
八日市 34－0 能登川
八日市 15－5 彦根東
彦根東 18－1 能登川

▼同・dゾーン
彦根西 18－3 安曇川
守山女子 18－0 安曇川
守山女子 18－9 彦根西

▼決勝トーナメント1回戦
彦根商 24－1 彦根東
河瀬 14－3 彦根西
八日市 8－5 米原
守山女子 20－6 高島

▼2回戦
彦根商 23－8 河瀬
守山女子 15－14 八日市

▼決勝
彦根商 23（13－6、10－5）11 守山女子

第35回京都府高校新人大会
（11月2日～24日／光華高校大原野グランドほか）

〈男子〉

●予選リーグ

▼Aブロック
東宇治 12－8 八幡
東宇治 16－4 田辺
東宇治 20－8 日吉丘
東宇治 25－4 城陽
八幡 18－8 田辺
八幡 15－13 日吉丘
八幡 16－11 城陽
日吉丘 18－5 田辺
日吉丘 11－9 城陽
城陽 12－10 田辺

〔順位〕①東宇治②八幡③日吉丘④城陽⑤田辺

▼Bブロック
北嵯峨 22－3 同志社
北嵯峨 13－9 西宇治
北嵯峨 20－7 西乙訓
北嵯峨 25－1 塔南
西宇治 22－5 同志社
西宇治 20－13 西乙訓
西宇治 31－4 塔南
西乙訓 18－9 同志社
西乙訓 25－6 塔南
塔南 12－11 同志社

〔順位〕①北嵯峨②西宇治③西乙訓④塔南⑤同志社

▼Cブロック
堀川 12－6 京都学園
堀川 12－11 桃山
堀川 13－8 城南
堀川 13－5 久御山
城南 14－0 京都学園
城南 12－0 桃山
城南 11－5 久御山
京都学園 16－8 桃山
京都学園 17－3 久御山
桃山 19－16 久御山

〔順位〕①堀川②城南③京都学園④桃山⑤久御山

▼Dブロック

南八幡 14－8 嵯峨野
南八幡 25－1 宇治
南八幡 16－11 洛西
平安 15－14 南八幡
平安 12－0 宇治
平安 20－15 洛西
嵯峨野 17－3 平安
嵯峨野 34－5 宇治
洛西 9－7 嵯峨野
洛西 26－7 宇治

〔順位〕①南八幡②平安③嵯峨野④洛西⑤宇治

▼Eブロック

洛水 24－6 伏見工
洛水 35－4 洛東
洛水 28－3 北稜
洛水 20－11 両洋
両洋 20－13 伏見工
両洋 18－7 洛東
両洋 29－6 北稜
北稜 10－9 伏見工
北稜 17－10 洛東
伏見工 16－11 洛東

〔順位〕①洛水②両洋③北稜④伏見工⑤洛東

▼Fブロック

向陽 11－10 大谷
向陽 13－13 山城
向陽 8－4 東山
大谷 17－11 山城
大谷 12－7 東山
山城 18－18 東山
山城 13－13 向陽

〔順位〕①向陽②大谷③山城④東山

▼Gブロック

洛北 15－11 京都西
洛北 40－4 洛陽工
洛北 27－4 乙訓
京都西 42－6 洛陽工
京都西 19－6 乙訓
乙訓 31－2 洛陽工

〔順位〕①洛北②京都西③乙訓④洛陽工

▼決勝トーナメント1回戦

洛水 18－8 城南
北嵯峨 20－11 八幡
東稜 14－9 南八幡
京都西 17－12 向陽
桂 39－10 平安
大谷 14－12 堀川
東宇治 20－12 両洋
洛北 27－14 西宇治

▼2回戦

洛水 29－10 北嵯峨
京都西 13－7 東稜
桂 25－12 大谷
洛北 25－12 東宇治

▼準決勝

京都西 17－12 洛西
洛北 17－14 桂

▼3位決定戦

桂 24－14 洛水

▼決勝

洛北 12（7－6、5－3）9 京都西

〈女子〉

●予選リーグ

▼アブロック

京都女子 27－0 鴨沂
京都女子 17－6 乙訓
京都女子 20－6 桃山
京都女子 14－9 北嵯峨
北嵯峨 33－4 鴨沂
北嵯峨 8－2 乙訓
北嵯峨 20－3 桃山
桃山 22－6 鴨沂
桃山 12－6 乙訓
乙訓 15－5 鴨沂

〔順位〕①京都女子②北嵯峨③桃山④乙訓⑤鴨沂

▼イブロック

洛北 42－2 西山
洛北 29－0 久御山
洛北 40－0 北稜
洛北 14－5 城南
城南 18－4 西山
城南 13－4 久御山
城南 10－6 北稜
久御山 6－4 西山
久御山 8－6 北稜
西山 7－6 北稜

〔順位〕①洛北②城南③久御山④西山⑤北稜

▼ウブロック

西宇治 22－4 塔南
西宇治 11－4 日吉丘
西宇治 8－3 田辺
西宇治 15－6 西乙訓
田辺 8－4 塔南
田辺 7－5 西乙訓
西乙訓 13－6 塔南
西乙訓 11－8 日吉丘
日吉丘 15－7 塔南
日吉丘 9－7 田辺

〔順位〕①西宇治②田辺③西乙訓④日吉丘⑤塔南

▼エブロック

府立商 15－8 精華
府立商 16－3 洛東
府立商 17－3 南八幡
府立商 9－1 桂
精華 20－7 洛東
精華 14－9 南八幡
精華 11－5 桂
桂 13－6 洛東
桂 10－4 南八幡
南八幡 7－4 洛東

〔順位〕①府立商業②精華③桂④南八幡⑤洛東

▼オブロック

東宇治 17－4 光華
東宇治 31－2 京都学園
東宇治 8－6 洛西
洛西 16－9 光華
洛西 16－6 京都学園
光華 9－7 京都学園

〔順位〕①東宇治②洛西③光華④京都学園

▼カブロック

向陽 23－1 山城
向陽 20－5 洛水
向陽 23－5 東稜
東稜 14－2 山城
東稜 7－6 洛水
洛水 8－3 山城

〔順位〕①向陽②東稜③洛水④山城

▼決勝トーナメント1回戦

京都女子 20－8 精華
東稜 15－3 田辺

北嵯峨 12－8 府立商業
洛西 9－8 城南

▼2回戦
洛北 22－14 京都女子
東宇治 23－2 東稜
向陽 20－5 北嵯峨
洛西 12－10 西宇治

▼準決勝
洛北 14－7 東宇治
向陽 20－7 洛西

▼3位決定戦
東宇治 13－3 洛西

▼決勝
洛北 14（9－1, 5－4）5 向陽

第43回大阪高校新人大会

（中央大会11月23、24日／初芝高）

◎北ブロック大会

〈男子〉

▼1回戦
富田林 22－7 岸和田産
和泉 31－1 金岡
泉陽 27－11 泉大津
鳳 22－11 久米田
岸和田 27－5 長野
登美丘 31－7 堺西
大体大浪商 24－7 堺上

▼2回戦
初芝 24－11 富田林
和泉工 20－8 泉北
東百舌鳥 17－10 和泉
三国丘 14－10 泉陽
高石 16－15 鳳
堺東 18－14 岸和田
登美丘 32－8 堺工
商大堺 19－14 大体大浪商

▼準々決勝
初芝 30－6 和泉工
三国丘 15－9 東百舌鳥
堺東 19－19 高石
商大堺 25－15 登美丘

▼準決勝
初芝 11－10 三国丘
商大堺 27－12 堺東

▼3位決定戦
三国丘 14－3 堺東

▼決勝
初芝 19（10－7, 9－6）13 商大堺

〈女子〉

▼1回戦
三国丘 9－4 高石
鳳 23－3 佐野
東百舌鳥 17－11 和泉
富田林 棄権 岸和田産
岸和田 14－6 久米田

▼2回戦
初芝 26－3 三国丘
鳳 12－9 住吉商
東百舌鳥 25－9 富田林
堺東 33－5 岸和田

▼準決勝
初芝 26－12 鳳
堺東 14－11 東百舌鳥

▼3位決定戦
鳳 16－13 東百舌鳥

▼決勝
初芝 23（12－10, 11－9）19 堺東

◎中ブロック大会

〈男子〉

▼1回戦
藤井寺 27－7 大教大平野
花園 23－8 住吉
東住吉 18－6 八尾東
柏原 20－15 柏原東
東住吉工 24－11 羽曳野
清風 25－5 阿倍野
阪南 12－4 池島
高津 22－14 山本

▼2回戦
桃山学院 39－2 藤井寺
花園 47－7 港南
東住吉 18－12 大和川
天王寺 21－11 柏原
上宮 26－7 東住吉工
八尾 22－20 清風
生野 15－14 阪南
此花学院 28－7 高津

▼3回戦
桃山学院 41－3 花園
天王寺 15－7 東住吉
上宮 33－10 八尾
此花学院 31－7 生野

▼準決勝
桃山学院 44－2 天王寺
上宮 28－13 此花学院

▼3位決定戦
此花学院 17－11 天王寺

▼決勝
桃山学院 19（14－12, 5－6）18 上宮

〈女子〉

▼1回戦
東大阪 12－9 天王寺
関西女短附 25－17 東住吉

▼2回戦
四天王寺 57－1 東大阪
住吉 13－6 八尾
山本 8－5 大和川
信愛女子 9－3 池島
阪南 22－2 城南学園
八尾東 16－7 高津
生野 20－4 藤井寺
大谷 49－6 関西女短附

▼3回戦
四天王寺 37－3 住吉
信愛女子 19－6 山本
阪南 16－5 八尾東
大谷 52－3 生野

▼準決勝
四天王寺 35－1 信愛女子
大谷 24－2 阪南

▼3位決定戦
阪南 15－5 信愛女子

▼決勝
四天王寺 20（9－1, 11－5）6 大谷

◎東ブロック大会

〈男子〉

▼1回戦
寝屋川 25－21 島上大冠
三島 19－17 茨木
摂陵 22－10 大東
城東工 20－13 守口北
枚方 13－10 芥川
南寝屋川 8－8（2 PTC 1）交野
牧野 21－9 関西大倉
長尾 16－7 淀川工
茨木東 13－10 同志社香里
門真南 [illegible]4－16 加納

▼2回戦
高槻北 22－10 島本
春日丘 24－22 寝屋川
三島 31－17 摂陵
枚方 28－12 城東工
西寝屋川 8－8 南寝屋川
摂津 29－11 牧野
長尾 32－12 茨木東
四条畷 18－16 門真南
島上 28－8 高槻北

▼準々決勝
春日丘 17－15 三島
枚方 20－14 西寝屋川
摂津 23－17 長尾
島上 28－21 四条畷

▼準決勝
枚方 19－18 春日丘
摂津 22－10 島上

▼3位決定戦
春日丘 20－19 島上

▼決勝
摂津 25（14－9, 11－8）17 枚方

〈女子〉

▼1回戦
門真 12－11 香里丘

▼2回戦
門真南 13－8 門真
島上 14－6 高槻北
南寝屋川 12－4 大阪市立
枚方 8－6 大東
摂津 10－10 春日丘
2 PTC 1
守口北 10－4 茨木
西寝屋川 44－1 牧野
寝屋川 9－9 長尾

▼3回戦
門真南 26－3 島上
枚方 10－4 南寝屋川
摂津 40－5 守口北
西寝屋川 20－2 寝屋川

▼準決勝
門真南 14－6 枚方
摂津 13－12 西寝屋川

▼3位決定戦
西寝屋川 20－8 枚方

▼決勝
摂津 13（6－3, 7－1）4 門真南

◎北ブロック大会

〈男子〉

▼1回戦
千里 24－5 山田
柴島 24－12 渋谷
大商学園 27－7 東淀川
桜塚 34－16 追手門
箕面 19－17 大阪学院
豊中 25－10 東豊中

▼2回戦
北陽 30－9 北千里
千里 26－11 柴島
池田 21－7 箕面学園
大商学園 15－7 刀根山
桜宮 22－8 桜塚
北野 14－13 西野田工
箕面 19－8 市岡
都島工 19－7 豊中

▼3回戦
北陽 31－5 千里
大商学園 27－7 池田
桜宮 16－9 北野
都島工 14－9 箕面

▼準決勝
北陽 21－16 大商学園
桜宮 15－11 都島工

▼3位決定戦
大商学園 15－11 都島工

▼決勝
北陽 24（12－9, 12－9）18 桜宮

〈女子〉

▼1回戦
刀根山 23－7 薫英
東豊中 23－9 千里

▼2回戦
宣真 23－9 刀根山
池田 11－6 豊中
箕面 17－8 桜塚
金蘭会 22－11 池田北
梅花 25－6 東淀川
福島女子 21－7 北野
成蹊 14－6 市岡
桜宮 27－4 東豊中

▼3回戦
宣真 25－5 池田
金蘭会 17－8 箕面
福島女子 19－10 梅花
桜宮 14－1 成蹊

▼準決勝
宣真 29－8 金蘭会
福島女子 16－8 桜宮

▼3位決定戦
桜宮 14－9 金蘭会

▼決勝
宣真 18（10－4, 8－5）9 福島女子

◎中央大会

〈男子〉

▼1回戦
摂津 20－11 天王寺
大商学園 15－15 商大堺
5 PTC 4
北陽 37－13 堺東
上宮 26－9 春日丘
桃山学院 22－10 都島工
三国丘 26－10 枚方
初芝 23－14 島上
桜宮 11－9 此花学院

▼2回戦
大商学園 21－20 摂津
上宮 21－15 北陽
桃山学院 18－3 三国丘
桜宮 15－15 初芝
3 PTC 1

▼準決勝
上宮 20－15 大商学園
桃山学院 22－11 桜宮

▼決勝
桃山学院 16（7－5, 9－9）14 上宮

〈女子〉

▼1回戦
四天王寺 39－5 金蘭金
西寝屋川 32－13 堺東
宣真 26－6 枚方
大谷 28－5 鳳
初芝 23－6 信愛女子
桜宮 11－6 門真南
摂津 21－7 東百舌鳥
福島女子 14－2 阪南

▼2回戦
四天王寺 35－7 西寝屋川
宣真 13－12 大谷
初芝 19－17 桜宮

福島女子 21－9 摂津

▼準決勝

四天王寺 22－6 宣真

福島女子 11－7 初芝

▼決勝

四天王寺 23（13－2、10－3）5 福島女子

第20回近畿クラブ対抗選手権

（12月1日／和歌山商高体育館）

〈男子〉

▼予選リーグA

東山ク（京都）22－15 鈴蘭台ク（兵庫）

那賀ク（和歌山）26－19 鈴蘭台ク

東山ク 22－12 那賀ク

▼予選リーグB

同志社大阪ク（大阪）25－13 彦根ク（滋賀）

生駒ク（奈良）22－10 彦根ク

生駒ク 16－15 同志社大阪ク

▼3、4位決定戦

那賀ク 18－17 同志社大阪ク

▼決勝

東山ク 21（10－9、11－10）19 生駒ク

〈女子〉

▼リーグ戦

古都ク（京都）18－3 オレンジク（和歌山）

松下電工（滋賀）19－7 生駒ク（奈良）

松下電工 22－5 オレンジク

古都ク 16－7 生駒ク

生駒ク 21－2 オレンジク

松下電工 18－15 古都ク

〔順位〕①松下電工②古都クラブ③生駒クラブ④オレンジクラブ

中国

山口県高校新人選手権

（11月3、4日／下松高校ほか）

〈男子〉

▼1回戦

防府商 26－21 田部

下関工 23－12 小野田工

下関第一 19－14 聖光

下関西 28－9 徳山工

華陵 29－24 早鞆

防府西 18－9 宇部工

岩国 27－12 山口

南陽工 23－21 広瀬

徳山 22－9 西京

徳山商 25－3 野田学園

▼2回戦

下松工 29－6 防府商

下関工 14－8 下関第一

下関中央 14－11 下関西

高水 36－9 華陵

岩国工 26－7 防府西

岩国 25－19 下松

徳山 29－11 南陽

岩陽 30－10 徳山商

▼3回戦

下松工 33－7 下関工

高水 19－11 下関中央工

岩国工 31－10 岩国

岩陽 29－16 徳山

▼準決勝

下松工 16－15 高水

岩国工 16－14 岩陽

▼決勝

岩国工 16（9－3、7－9）12 下松工

〈女子〉

▼1回戦

岩国商 24－5 長府

岩国 27－9 防府西

熊毛北 20－6 山口中央

華陵 30－14 岩陽

高水 38－8 響

徳山 棄権 田部

西京 17－9 新南陽

徳山商 30－10 防府商

▼2回戦

岩国商 45－9 岩国

華陵 26－3 熊毛北

高水 11－4 徳山

徳山商 29－5 西京

▼準決勝

華陵 16－14 岩国商

徳山商 25－25 2PTC1 高水

▼決勝

華陵 22（11－8、11－5）13 徳山商

九州

福岡県学生秋季リーグ戦

▼**男子1部**

福岡大 39－10 西南学院大

福岡大 40－11 福岡教育大

福岡大 36－13 長崎大

福岡大 33－23 熊本大

福岡大 26－18 東和大

東和大 41－13 西南学院大

東和大 43－17 福岡教育大

東和大 45－18 長崎大

東和大 47－22 熊本大

福岡教育大 19－26 西南学院大

福岡教育大 18－20 長崎大

熊本大 28－24 福岡教育大

熊本大 30－21 長崎大

西南学院大 28－24 長崎大

熊本大 20－19 西南学院大

〔順位〕①福岡大②東和大③熊本大④西南学院大⑤長崎大⑥福岡教育大

▼**男子2部**

九州産大 26－23 九州大

九州共立大 20－19 九州大

九州大 34－12 久留米工大

九州大 24－11 産業医科大

九州産業大 30－29 久留米工大

九州産業大 33－24 九州共立大

九州産業大 35－19 産業医科大

久留米工大 32－19 九州共立大

久留米工大 31－24 産業医科大

九州共立大 20－19 産業医科大

〔順位〕①九州産業大②九州大③久留米工大④九州共立大⑤産業医科大

▼**男子3部**

長崎総科大 12－0 九州工大

西日本工大 12－0 九州工大

福岡工大 12－0 九州工大

第一経済大 12－0 九州工大

福岡工大 32－19 西日本工大

長崎総科大 22－21 福岡工大

第一経済大 27－22 福岡工大

長崎総科大 41－16 西日本工大

長崎総科大 28－17 第一経済大

第一経済大 29－14 西日本工大

〔順位〕①長崎総合科学大②第一経済大③福岡工業大④西日本工業大⑤九州工業大

〈女子〉

福岡教育大 22－19 福岡大

福岡大 30－15 九州女子大

福岡大 49－11 長崎大

福岡大 35－7 東海福岡短大

福岡教育大 29－13 長崎大

福岡教育大 29－11 九州女子大

福岡教育大 33－18 東海福岡短大

九州女子大 31－9 長崎大

九州女子大 26－7 東海福岡短大

長崎大 22－22 東海福岡短大

〔順位〕①福岡教育大②福岡大③九州女子大④東海福岡短大⑤長崎大

(財)日本ハンドボール協会編
『ハンドボール』
第三一七号
昭和四十年六月七日 第三種郵便物認可
平成四年二月二十六日 印刷
平成四年三月一日 発行
東京都渋谷区神南一ー一ー一
電話 代表(418)二三六一
振替 東京 六ー五八三四八番
編集兼発行人 安藤純光
定価三百五拾円
(年間購読料三千三百円)